

# 東日本大震災 移動と交通に関する第一回勉強会

未曾有の大災害となった東日本大震災においては、被災地における避難や復旧時の高齢者・障害者等のモビリティ確保の問題が生じています。また、首都圏では地震直後の帰宅や計画停電の実施による移動問題が発生しました。そこで交通エコロジー・モビリティ財団では日本福祉のまちづくり学会と連携し調査を進めながら、緊急時の高齢者・障害者等のモビリティ確保のあり方を考える連続勉強会を開催致します。つきましては下記要領で開催致しますので、皆様の参加をお待ちしております。

## <内容骨子(予定)>

- ① 高齢者・障害者のモビリティに焦点を当てた、被災地での生活者のニーズや復旧活動の状況
- ② 被災地での障害者の安否確認活動とその後の移動や通院等の問題、
- ③ 障害者や高齢者で遠隔地へ避難した人の課題
- ④ 首都圏での震災後の帰宅問題、計画停電・節電による公共交通機関のバリアフリー問題 など

## プログラム(都合により変更の場合があります 敬称略)

時刻	内容	発表者
18:00	開会	—
18:05	震災の課題の全体像 (日本福祉のまちづくり学会で取り組む震災調査活動について)	コーディネーター 北星学園大学客員教授 秋山哲男
18:30	震災における障害者の状況と課題 —安否確認/障害者の生活の問題(移動、住居、医療など)—	CIL たすけっと(仙台)副代表 杉山裕信
18:55	被災者、遠隔地避難者の課題など —当事者からの報告—	東北福祉大学 総合マネジメント学部 産業福祉マネジメント学科 准教授 岡正彦
19:20	震災と公共交通機関のバリアフリーの課題 ・計画停電時における公共交通機関のバリアフリー確保について	フリージャーナリスト 高嶋健夫
19:40	・大規模地震後首都圏における障害者の帰宅について	DPI 日本会議交通問題担当 今福義明
20:00	質疑	

**日時** 2011年6月13日(月) 18:00-20:30(17:45 開場)

**会場** 日本大学理工学部駿河台校舎 1号館 2階 122 会議室

東京都千代田区神田駿河台 1-8-14

JR お茶の水駅聖橋口、メトロ千代田線新御茶ノ水駅 3分

メトロ丸の内線御茶ノ水駅、淡路町駅、都営新宿線小川町駅から

もご来場頂けます

**定員:70名**

**参加費:無料**

**お申し込み** shinsai0613@ecomoo.or.jp

上記メールまで御所属、お名前、複数ご参加の場合は全員の氏名をご記入の上お送り下さい。

定員になり次第×切ります。

※手話通訳をご希望される場合は申し込み時に明記して下さい。

**主催** 交通エコロジー・モビリティ財団

**共催** 一般社団法人日本福祉のまちづくり学会

**お問い合わせ** 交通エコロジー・モビリティ財団

バリアフリー推進部

TEL03-3221-6673 FAX03-3221-6674



詳細地図

日本大学工学部駿河台校舎1号館(総ガラス張りの建物)

JR御茶ノ水駅	聖橋口から徒歩3分
東京メトロ丸ノ内線	御茶ノ水駅から徒歩6分
同上	淡路町駅から徒歩8分
東京メトロ千代田線	新御茶ノ水駅から徒歩3分
都営地下鉄	小川町駅から徒歩4分

JR御茶ノ水駅は、東京駅から中央線快速で2駅目 約4分  
 新宿駅から中央線快速で2駅目 約12分

